

## 2 目 標 達 成 計 画

グループホーム神苑

作成日 平成30年3月12日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	身体機能の状況によって、外出の頻度に差がある。	利用者全員が、週に1回は外へ出る様にする。	スタッフ間で業務の協力をしながら、短時間でも近隣への外出をする。 週の曜日ごとに外出の計画を立て実施する。	12ヶ月
2	36	前年度も目標に掲げていたが、言葉使いや対応などに、まだ不適切と思われる場面がある。	尊厳を損ねない様に、その場面や個人に応じた対応に努める。	カンファレンスの場で、言葉かけや対応について話あいをしてしながら各自の反省など考える時間をもち、個人のプライドを損ねない対応をする。 特に排泄に関してのデリケートな言葉かけなどには十分注意をする。	12ヶ月
3	35	災害対策において、地域との連携が不足している。災害時の対策や準備などが不十分と思われる。	地域での事業所が出来る事の確認と備えをする。 訓練を通し職員の連携確認をする。	近隣の方へも訓練時への参加を呼びかける。近隣の方も高齢者が多く、必要と思われる備えを検討し確保する。 年に数回は、災害時を想定した炊き出しを行う。	12ヶ月
4	45	入浴を楽しむようには努めているが、飾りなどに季節感がなかったり、浴室に必要な物がない物がおいてあり、安全面においての管理不足がある。	入浴を楽しむ支援を継続し、浴室や脱衣所などの使いやすさと安全面についても工夫していく。	浴室の飾りなども、季節に応じたものとする。 安全面を検討しながら、浴室の整理をしていく。	12ヶ月
5	52	共有空間に洗濯物が干してあったり、整理整頓ができていないことがあり、居心地がいい環境への配慮に欠けていることがある。	安心と安全面に配慮し、居心地のいい環境づくりをする。	湿度や温度管理に気を配る。 利用者の動きを視野に入れ、整理整頓に努める。季節に応じた飾りつけをする。 洗濯物を共有空間に干さないようにする。	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。